

授業科目	女性とマナー				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	CH10303J		
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	江田 康子							
授業概要	実務家教員として、新入社員研修、リーダー研修、管理職研修(リスクマネジメン)、また職場のコミュニケーション等企業研修の経験から、ここ数年は異業種新入社員研修では幼稚園教諭の参加も多数。社会人として必要な意識改革、また保護者様や同僚と良好な人間関係を作る言葉遣いや常識など、保育士として社会性の基礎を培う。アクティブラーニングではプレゼンテーションを行う予定。							
学生が達成すべき行動目標	1. 保育士に必要な7つの意識を学び、社会人としての意識改革と共に自己成長の方法が理解できる。2. ビジネスの現場だけではなくあらゆる人から受け入れられるソーシャルマナーを学び、身に付ける意義が理解できる。3. 保護者様からの信用信頼を得る為に必要なプレゼンテーションに気付き、言葉遣いや立ち居振る舞いの重要性が理解できる。							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50		50	0		0	100	
知識・理解 (DP1-1)	25		25	0		0	50	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	25		25	0		0	50	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
マナーの理念は「人に迷惑をかけない」「人に好感を与える」「人を尊敬する」三つの原則を常に意識し、自分が発している言動や行動を深く考察し、新たな気付き並びに日々の気付きの中で言動や行動を振り返り人として成長すること。成績において「秀」を理想レベルとする。				保育士としての意識改革から社会人として責任ある行動をとることの意義が理解でき、マナーを身に付け基礎的行動を取る必要性を理解し、人前で話すことの訓練が自己の成長に繋がることに気付きそのように日々鍛錬することの重要性を理解すること。成績において「良」を標準レベルとする				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	テーマ:オリエンテーション 授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する	シラバスを用いてオリエンテーションを行う	なし	0
2	テーマ:保育士に求められる7つの意識 1. 協力意識 2. 改善意識 3. コスト意識 4. 目的意識 5. 安全安心真心意識 6. お客様意識 7. 自分自己生きがい意識	・講義 ・課題	・課題に取り組む	30
3	テーマ:ソーシャルマナー 1. 外見・身だしなみ・表情 2. 話し方 3. 態度 4. 会話 マナーは組織に貢献することを理解し身に付ける意義を知る	・講義	家庭や実社会でマナーを思慮しながら実践する	60
4	テーマ:言葉遣い 敬語の基本・敬語の文法・乱れた日本語・人を不快にさせるフレーズ・肯定表現	・講義 ・演習	家庭や実社会でマナーを思慮しながら実践する	60
5	テーマ:話し方 発声発音・滑舌・腹筋 相手に聞きやすい声のコミュニケーション	・講義 ・演習	相手に聞きやすい声を意識して家庭や実社会で使ってみる	30
6	テーマ:プレゼンテーション 社会人として信頼される4つのキーワードから評価を行う。評価の方法を学び社会で働く人の評価をする。(課題)	・講義 ・アクティブラーニング ・課題	・課題に取り組む	30
7	テーマ:冠婚葬祭 保育士として冠婚葬祭に参列する時の常識を学ぶ	・講義	・授業の総括をしておく	0
8	テーマ:まとめ この授業のまとめを行う	・試験	なし	0
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	別途教員より指示あり			
テキスト	なし。必要に応じてプリントを配布する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：・Business Manner（ビジネスマナー）〈早稲田教育出版／青木テル〉 ジネスコミュニケーション〈日経 BP ソフトプレス／箱田忠昭〉			・ビ
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で学んだことを、実社会で実践的に活用してみてください。頭で理解するだけでなく、態度や言葉に乗せて、人と接する中で日々チャレンジし、成長を実感しながら授業に臨んでください。			
達成度評価に関するコメント	別途教員より指示あり			